

研修目標と研修内容について

職種名「チャイルド・ライフ・スペシャリスト」

## 1 概要

チャイルド・ライフ業務全般に必要な基本的な知識と技術の習得を通じて、成人がん専門施設においてがん医療に精通したチャイルド・ライフ・スペシャリストを養成する。

## 2 研修での到達目標

### 1) 一般目標

チャイルド・ライフ・プログラム業務全般に関する基本的技術の習得

### 2) 行動目標

下記知識・技能の習得を目標とする。

- ・ 小児がんに関する医療・治療などの基礎知識・介入技能の習得
- ・ 小児がん罹患・入院による心理社会的影響に関する知識・技能の習得
- ・ こどもとその家族中心のケアに関する専門知識・技能の習得
- ・ AYA 世代患者への医療・治療などの基礎知識・介入技能の習得
- ・ AYA 世代患者の抱える心理社会的問題に関する知識と介入技能の習得
- ・ 多職種チーム医療の中でチャイルド・ライフの担う役割に関する知識・技能の習得
- ・ 静岡がんセンターにおけるメディカル・プレイの知識・技能の習得
- ・ 成人がん患者の医療・治療に関する基礎知識の習得
- ・ 成人がん患者のこどもの抱える心理社会的問題に関する知識と介入技能の習得
- ・ グリーフ・ケアに関する知識と介入技能の習得
- ・ チャイルド・ライフ・プログラムの管理運営技能の習得

## 3 実習内容

担当指導者の指導のもとに約4か月間はシャドーイング（担当指導者に常時随行）し、実習日程に従い病棟・外来でのCLSの活動内容見学／補助及び各カンファレンス参加などにより知識・技術を習得する。5か月目以降は、下記のテーマに沿って順を追って、知識・技術を習得し実践する。適宜、必要図書の自習を行い理論と実践を連動させる。

- a) アセスメント（発達段階、入院の心理社会的影響、病気の理解度、家族関係）
- b) 記録（ジャーナル、カルテ）
- c) 治癒的遊び
- d) 家族中心ケア・同胞支援
- e) 発達支援（コーピング・スキル補助、自律の促進など）・復学支援
- f) 他職種との連携
- g) メディカル・プレイ（がん治療で行われる頻度の高い検査・処置等を中心に）
- h) 成人患者の親をもつ子への支援
- i) グリーフ・ケア